

生育状況は、平年並みに推移しており、品種によって、結実状況が判明してきました。今後は、予備摘果・仕上げ摘果等の管理作業を実施しましょう。尚、ふくろみ病被害果は、園外へ除去して下さい。また、シンクイムシ類の果実への加害が確認されてくる園地もあります。今回の薬剤散布は、初期の発生密度を抑えるため、前回の防除から開かないように努めましょう。

1. 薬剤散布 隣接園（特に収穫期の作物）に飛散しないように注意して下さい

《プラム》（前回から約 10 日後）

・散布時期：	5 月下旬～6 月初旬（5 月 27 日～6 月 1 日頃）	
・散布薬剤：	水 100ℓ 当り	・散布日 月 日
	展着剤 10mℓ	・散布量 ℓ
	Ⓢ バイスロイド EW 33mℓ （14 日前、2 回）	
	マイコシールド 50g （21 日前、3 回）	
・対象病虫害：	アブラムシ類、（シンクイムシ類）、黒斑病（かいよう病）	
・散布量：	10a 当り SS 500ℓ 動噴 600ℓ	
・注意事項		
①	摘果果実は、腐敗病、シンクイムシ類の伝染源になりやすいため、園外へ除去する。	
②	カイガラムシ類の発生がある場合は、コルト顆粒水和剤 2000 倍（前日、3 回）を加用する。	
③	葉・果実とも軟弱であり、散布の時間帯・薬液量等十分に注意する。	

次回の散布（前回から約 10 日後）

・散布時期：	6 月上中旬（6 月 7 日～6 月 11 日頃）	
・散布薬剤：	水 100ℓ 当り	・散布日 6 月 日
	展着剤 10mℓ	・散布量 ℓ
	Ⓢ ダズバン DF 33mℓ （14 日前、2 回）	
	マイコシールド 50g （21 日前、3 回）	* 収穫前規制注意
・対象病虫害：	シンクイムシ類、ウメシロカイガラムシ、黒斑病（かいよう病）	
・散布量：	10a 当り SS 500ℓ 動噴 600ℓ	
・注意事項		
①	大石早生は、収穫前日数のためマイコシールド 2000 倍を使用しない。	
②	シンクイムシ類の発生園はフェニクスフロアブルの 4000 倍（前日、3 回）を加用散布する。	
③	授粉樹が病虫害の発生源にならないよう、授粉樹への防除も徹底する。	

「大石早生」収穫開始予想
6 月 30 日頃～

《ブルー》

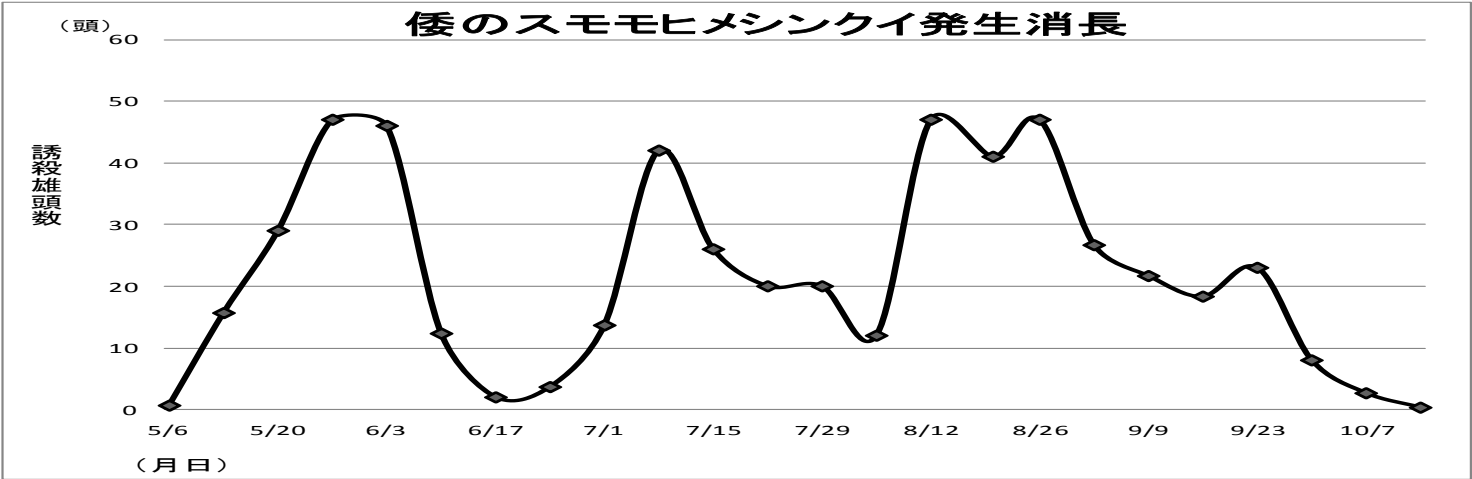
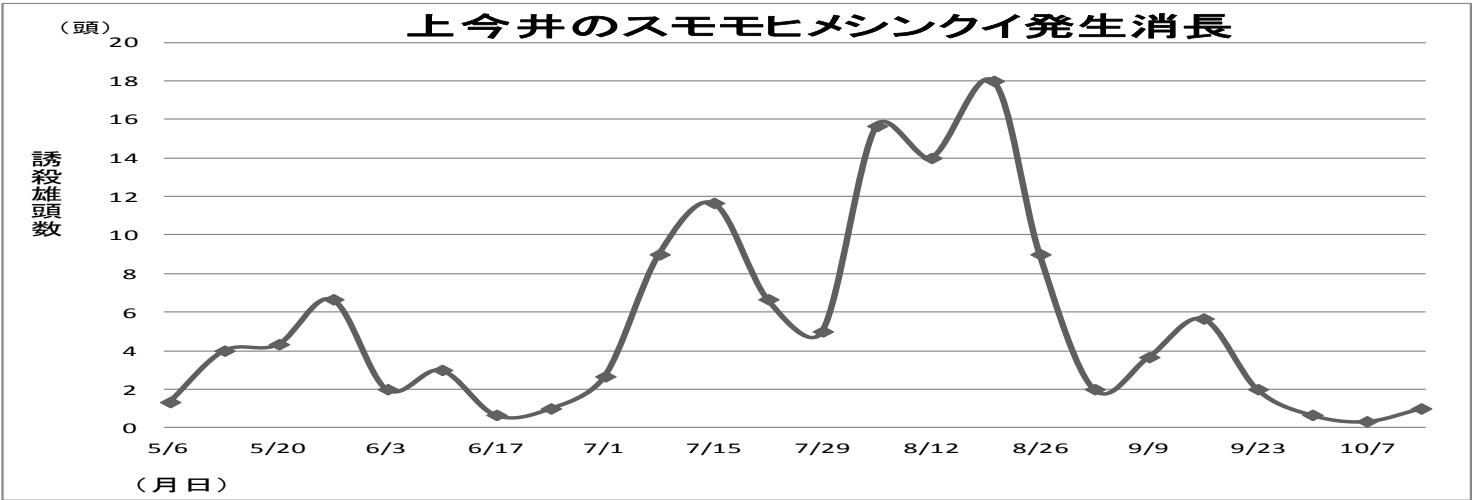
・散布時期：	5 月下旬～6 月上旬（5 月 31 日～6 月 4 日頃）	
・散布薬剤：	水 100ℓ 当り	・散布日 月 日
	展着剤 10mℓ	・散布量 ℓ
	ベルコートフロアブル 50mℓ （3 日前、3 回）	
	アーデントフロアブル 50mℓ （前日、3 回）	
・対象病虫害：	カイガラムシ類、灰星病、（シンクイムシ類）、（ハマキムシ類）、ハダニ類	
・散布量：	10a 当り SS 500ℓ 動噴 600ℓ	
・注意事項		
①	摘果果実は、腐敗病の伝染源になりやすいので土中深く埋めるか、園外へ除去する。	

3. 今後の管理

- ・仕上げ摘果→見直し摘果。 ・支柱、枝吊りの実施。 ・園内が暗くなりやすいので新梢を整理しましょう。
- ・ふくろみ病の発生果実は翌年への越冬菌増加に繋がります。できるだけ園地外へ除去しましょう。

※プラム類の難害虫にスモモヒメシンクイが問題ですが、最近の傾向はモモシンクイガも増加傾向です。

「スモモヒメシンクイムシ過去3年の発生消長例（平均値）」



平成 29 年度スモモヒメシンクイのフェロモントラップ調査結果（普及センター）

	スモモヒメシンクイ（日本スモモ）					「頭数」
場 所	田上	深沢	一本木	西条	草間	上今井
調査日						
5月10日	7					7
5月15日		0	45	9	29	

※本年の設置は計 6 圃場ですが田上、上今井と深沢、一本木、西条、草間の調査日が違います。

トラップ調査などプラム生産情報のメール配信について（不定期）

配信を希望される方は、下記メールアドレス（園芸課 羽片）まで名前を入力したものを送信してください。なお、メールの件名は「メール配信」をお願いします。

※メールアドレス n-enhan1@nkn.nn-ja.or.jp

- ① 前年申し込みされている方は、今回の申込は必要ございません。
- ② 生産情報のメール配信に関して申込の締切はございません。
- ③ 何かご不明な点がございましたら園芸課 羽片（090－4460－7584）までご連絡ください。